

第 4 1 回
日本医師会医療秘書認定試験結果
分析評価報告書
(実施 令和 3 年 2 月 7 日)

日本医師会医療秘書認定試験委員会

日本医師会医療秘書認定試験委員会委員

◎板橋 隆三 宮城県医師会副会長

池井 義彦 宮崎県医師会常任理事

磯部 俊一 静岡県医師会代議員会副議長

佐々木勝彌 山梨県医師会理事

服部 徳昭 群馬県医師会理事

◎委員長

分析・評価

I. 緒	論	2
II. 科目別正解率		2
III. 各回の比較		3
IV. 総	括	3

付表

表 1	科目別正解率	5
表 2	各回の比較	6

第 41 回 日本医師会医療秘書認定試験結果 分析・評価

第 41 回日本医師会医療秘書認定試験は、13 県医師会(15 校)、358 名の受験生が参加して、令和 3 年 2 月 7 日に各県医師会において実施され、以下の成績を得たので報告する。

I. 緒論

- 1) 第 41 回認定試験の受験者数は、13 県医師会 358 名であった。
- 2) 受験者数 358 名中、合格者は 331 名、合格率は 92.5%であった。
- 3) 個人別取得点(100 点満点)の最高は 92 点、最低は 37 点であった。
- 4) 平均点は 70.8 点であった。

II. 科目別正解率

科目別正解率は表 1 の通りとなり、正解率の高かったものは、「医療秘書概論」(85.4%)、「コミュニケーション論」(85.3%)、「医療秘書実務」(83.6%)等であり、低かったものは、「医療保険事務」(56.1%)、「医の倫理」(61.4%)、「からだの構造と機能」(61.4%)であった。

また、医療・保健・福祉基礎教科と医療秘書専門教科に区分すると、医療・保健・福祉基礎教科(58 点満点)は 68.4%、医療秘書専門教科(42 点満点)は 74.1%であった。

Ⅲ. 各回の比較

平均点、標準偏差および変動係数を過去の試験結果と比較すると表2の通りであった。

Ⅳ. 総括

- 1) 出題問題については、「医療関係法規概論」の分野で1問疑義があり、検討の結果「正しい選択肢がない」と判断し、全員を「正解」の扱いとした。
- 2) 問題の適否については、正解率と識別指数を勘案し、慎重に審議した。
- 3) 合否については、慎重に審議して決定した。合格率は92.5%であった。
- 4) 各県医師会の合格率については、100%が秋田県、富山県、静岡県、滋賀県、岡山県、広島県、香川県、90%台が宮城県、福井県、山梨県、宮崎県であった。
- 5) 正解率においては、昨年度と比較して「医療情報処理学」、「薬の知識」が改善した。一方、「医療保険事務」はかなり低下した。
- 6) 今後、電子カルテ及びORCA(日医標準レセプトソフト)の普及に伴い、それに対応できる医療秘書を養成していくことが必要である。
- 7) 医療秘書は、医療現場においてチーム医療の一員としての役割が求められるとともに、働き方改革関連法の施行により、医師の勤務環境改善に寄与することが大きく期待される。

今回の試験において、前回成績の悪かった「医療情報処理学」や「薬の知識」などの科目において、かなり成績が上がったことは評価に値するものである。一方で、正解率がかなり低下した「医療保険事務」は、今後の勉学の継続が求められる。

- 8) 各学院において有能な医療秘書が養成されている状況が見られる。学院数はここ数年少しずつ増えており、現在16校である。

また、学院の種別としては専門学校から4年制大学まであり、養成の幅も広がっている。

9) 従来より要望していた「医師事務作業補助体制加算」の算定対象が、令和2年度診療報酬改定において有床診療所まで拡大されたことは喜ばしいことである。今後は、無床診療所を含めた更なる対象施設の拡大および評価が強く望まれる。

「日本医師会認定医療秘書」は、充実したカリキュラムを課して養成しており質が確保されていることから、これを医療秘書養成の基準とするべきである。今後更に「日本医師会医療秘書認定試験」の認知度を高めるため、診療報酬算定要件に本認定試験を位置づけるなどの方策も引き続き求めたい。

表 1 科目別正解率

(%)

科目	正解率（前回との差）	前回正解率
健康とは、疾病とは	64.2（▼ 2.7）	66.9
患者論（患者論と医の倫理）	61.9（▼ 4.6）	66.5
医の倫理（患者論と医の倫理）	61.4（▼ 6.4）	67.8
からだの構造と機能	61.4（▼ 1.7）	63.1
臨床検査（臨床検査と薬の知識）	65.6（▼ 9.5）	75.1
薬の知識（臨床検査と薬の知識）	72.7（△ 8.1）	64.6
医療にかかわる用語	75.8（△ 6.5）	69.3
コミュニケーション論	85.3（△ 6.6）	78.7
医療・保健・福祉基礎教科合計	68.4（ 0.0）	68.4
医療秘書概論	85.4（△ 6.3）	79.1
医療秘書実務	83.6（△ 3.4）	80.2
医療情報処理学	80.2（△15.8）	64.4
医療関係法規概論	68.9（▼ 5.2）	74.1
医療保険事務	56.1（▼12.3）	68.4
医療秘書専門教科合計	74.1（△ 1.4）	72.7

※「医療関係法規概論」については、正しい選択肢がない問題が1問あったため、前回と正解率を比較するにあたり、当該1問を除いた5問での正解率を示している。

表 2 各回の比較

	医学基礎教科(50 点満点)			秘書専門教科(50 点満点)			合 計(100 点満点)			合格率 (%)
	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	
第 1 回	35.9	±5.4	15.0	40.0	±4.2	10.5	75.9	±8.6	11.4	97.3
第 3 回	33.2	±6.0	18.2	34.3	±4.6	13.5	67.5	±9.8	14.5	80.1
第 5 回	32.6	±6.8	20.9	35.8	±5.5	15.4	68.4	±11.4	16.6	81.3
第 6 回	31.5	±7.6	24.0	38.6	±5.6	14.5	70.1	±12.3	17.6	80.8
第 7 回	33.2	±7.4	22.4	32.5	±6.5	20.0	65.7	±13.0	19.8	73.6
第 8 回	32.8	±6.7	20.6	36.1	±5.3	14.7	68.9	±10.7	15.6	86.1
第 9 回	31.7	±7.1	22.4	32.9	±6.6	20.0	64.5	±12.8	19.8	81.3
第 10 回	29.5	±8.0	27.0	33.4	±6.6	19.7	62.9	±13.7	21.7	80.0
第 11 回	30.5	±7.8	25.5	33.0	±6.4	19.5	63.5	±13.5	21.3	82.3
第 12 回	32.2	±7.3	22.7	33.3	±7.0	21.0	65.4	±13.6	20.8	82.5
第 13 回	31.5	±6.9	22.0	32.5	±6.8	21.0	64.0	±13.0	20.4	80.3
第 14 回	30.9	±6.4	20.7	32.1	±6.2	19.3	63.0	±11.7	18.6	84.3
第 15 回	30.7	±6.4	21.0	33.3	±6.7	20.1	64.0	±12.3	19.2	83.4
第 16 回	28.9	±6.5	22.5	29.8	±5.4	18.1	58.7	±11.1	18.9	78.2
第 17 回	30.4	±6.5	21.4	31.5	±6.0	19.0	61.9	±11.5	18.6	79.7
第 18 回	33.6	±6.6	19.6	34.8	±5.4	15.5	68.4	±11.0	16.1	85.1
第 19 回	32.9	±6.7	20.4	33.6	±5.4	16.1	66.5	±11.2	16.8	85.9
第 20 回	34.3	±6.2	18.2	33.3	±5.6	16.9	67.5	±11.0	16.3	87.6
第 21 回	36.1	±5.6	15.4	36.0	±5.0	13.9	72.1	±9.6	13.3	93.9
第 22 回	32.1	±6.5	20.2	32.5	±5.7	17.7	64.6	±11.3	17.5	79.2
第 23 回	34.2	±6.6	19.2	32.8	±5.9	17.8	67.0	±11.6	17.3	88.2
第 24 回	35.1	±5.0	14.2	35.6	±5.0	14.1	70.7	±9.2	13.1	94.2
第 25 回	32.1	±6.2	19.3	33.5	±4.7	13.9	65.6	±10.0	15.2	89.4
第 26 回	35.3	±5.9	16.6	34.5	±4.6	13.3	69.8	±9.5	13.6	92.0
第 27 回	34.5	±5.8	16.9	33.7	±4.7	14.0	68.3	±9.6	14.0	91.5
第 28 回	34.9	±5.3	15.2	34.5	±5.0	14.5	69.5	±9.4	13.5	94.0
第 29 回	37.0	±5.1	13.7	34.6	±5.2	15.1	71.6	±9.4	13.1	90.6
第 30 回	36.3	±6.3	17.3	32.8	±5.1	15.7	69.1	±10.5	15.1	89.9
第 31 回	37.2	±4.9	13.1	35.5	±4.8	13.4	72.7	±8.8	12.1	96.5
第 32 回	37.1	±5.3	14.2	34.2	±5.0	14.5	71.3	±9.4	13.1	94.1
第 33 回	33.4	±5.3	15.9	37.0	±4.7	12.8	70.4	±9.3	13.2	94.4
第 34 回	32.3	±4.6	14.3	37.7	±4.7	12.5	70.0	±8.2	11.8	94.4
第 35 回旧	38.2	±5.5	14.4	39.2	±5.2	13.3	77.4	±9.8	12.7	97.2
第 36 回旧	41.1	±4.5	10.9	42.0	±3.8	9.1	83.1	±7.4	8.9	100.0

	医療・保健・福祉基礎教科 (58 点満点)			医療秘書専門教科 (42 点満点)			合 計 (100 点満点)			合格率 (%)
	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	
第 35 回旧	38.3	±6.0	15.8	31.6	±4.9	15.4	69.8	±10.2	14.7	93.3
第 36 回新	38.0	±6.0	15.7	26.7	±4.2	15.9	64.7	±9.4	14.5	90.9
第 37 回	37.7	±5.8	15.5	29.6	±4.5	15.0	67.3	±9.2	13.7	92.7
第 38 回	37.5	±5.9	15.6	28.9	±4.4	15.2	66.5	±9.4	14.2	92.9
第 39 回	34.3	±5.6	16.4	27.8	±4.6	16.6	62.1	±9.4	15.2	90.6
第 40 回	39.7	±5.6	14.1	30.6	±5.3	17.2	70.2	±9.9	14.1	92.6
第 41 回	39.7	±6.5	16.3	31.1	±4.4	14.1	70.8	±10.0	14.1	92.5

※第 2 回・第 4 回は、年 2 回実施していたため受験者が少なく比較から除く。

※平成 26 年 4 月の要綱改訂に伴い、第 35 回・第 36 回は新旧要綱対応別に試験を実施。

なお、新要綱対応は、「医療・保健・福祉基礎教科」58 点満点、「医療秘書専門教科」42 点満点とし、第 37 回からは新要綱対応のみ実施。

※第 37 回・第 38 回は、一部の設問は新・旧テキストからの選択制。